

LGWAN接続用 次世代ファイアウォール FortiGate

自治体独自の対策が必要なLGWAN接続系ネットワークにおいてマイナンバーを含む自治体の情報資産を脅威から保護するにはネットワークを可視化し、攻撃や脅威の侵入を検知&制御することが必要です。次世代ファイアウォール FortiGateはAV、IPS、アプリケーション制御といったセキュリティ機能によりLGWAN接続系ネットワークを保護します。

次世代ファイアウォール FortiGate 200E



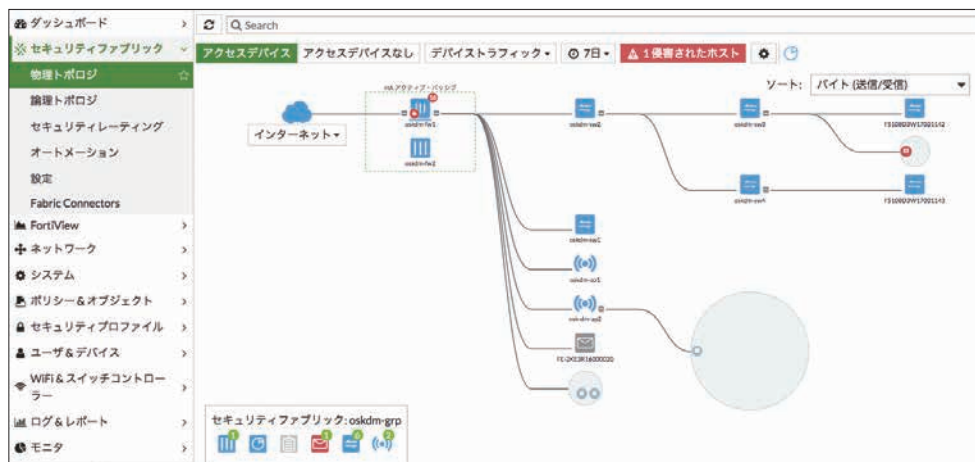
NGFWスループット : 1.8Gbps
 脅威保護スループット : 1.2Gbps
 電源冗長対応(オプション)

FortiGateは、世界および日本でUTM市場シェア No.1

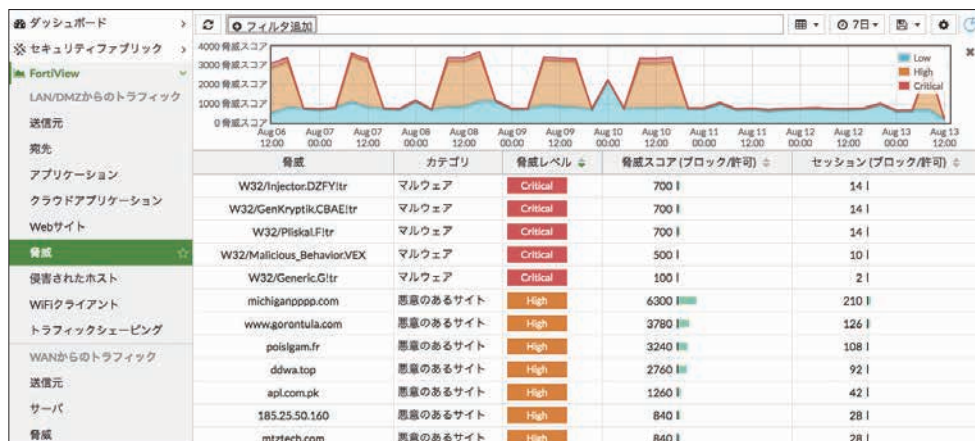
出典：IDC's Worldwide Quarterly Security Appliance Tracker - 2018 Q3(出荷台数)

次世代ファイアウォールによる可視化

ネットワークの可視化



脅威情報の可視化



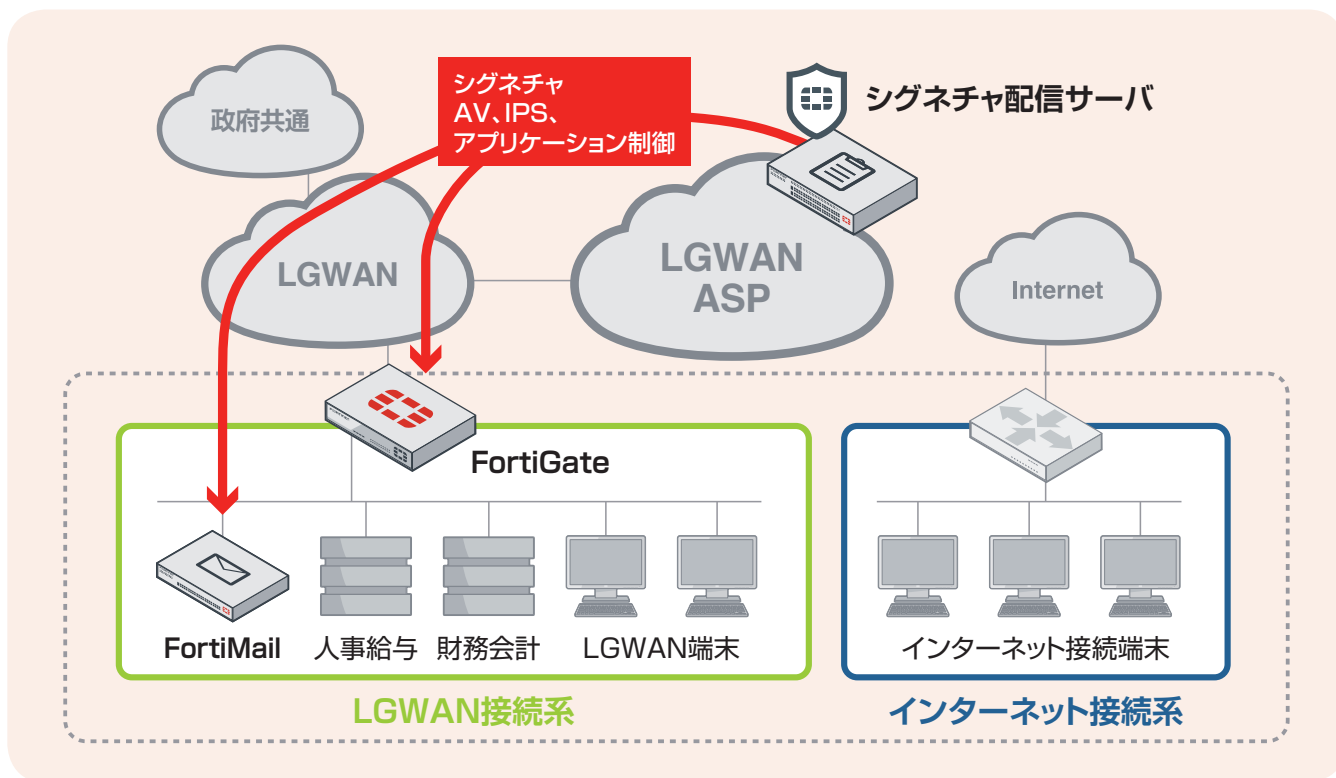
Fortinetシグネチャ配信サービス (ASPコード:A801506)

ご契約ライセンスにあわせてFortiGuard Labsから配信されるシグネチャのダウンロードが可能になりました。LGWAN-ASP内に設置したサーバからインターネットに接続することなく、お使いのFortiGate、FortiMailにシグネチャが配信されます。

<サービスご利用条件>

- ・本サービスのご利用にはお申し込みが必要です。
- ・対象OSバージョン
FortiGate : OS 6.2.x,6.0.x,5.6.x,5.4.x
FortiMail : OS 6.2.x,6.0.x,5.4.x,5.3.x
- ・ご契約が必要なサブスクリプション
FortiGate : UTM Protection もしくは AV や IPS 単体機能でお使いの場合は必要な単体ライセンス
FortiMail : FortiGuard AV Services もしくは FortiGuard Bundle

<構成イメージ>



FORTINET

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032
東京都港区六本木 7-7-7
Tri-Seven Roppongi 9 階
www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ